



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 アサヒホールディングス株式会社  
 コード番号 5857 URL <http://www.asahiholdings.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 寺山 満春

問合せ先責任者 (役職名) 企画部長 (氏名) 村島 克哉

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 平成27年11月25日

TEL 03-6270-1833  
 平成27年11月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	61,646	19.4	4,820	3.1	4,698	△0.3	2,752	△5.4
27年3月期第2四半期	51,632	7.8	4,674	△11.1	4,713	△12.6	2,909	△11.2

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 2,549百万円 (△20.3%) 27年3月期第2四半期 3,197百万円 (△10.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	83.93	—
27年3月期第2四半期	89.25	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	105,659	52,648	49.4
27年3月期	104,877	50,958	48.2

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 52,233百万円 27年3月期 50,504百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
28年3月期	—	30.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	129,000	15.8	11,000	5.0	10,800	2.3	6,500	12.6	198.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	36,254,344 株	27年3月期	36,254,344 株
28年3月期2Q	3,432,457 株	27年3月期	3,519,057 株
28年3月期2Q	32,795,944 株	27年3月期2Q	32,603,351 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善傾向は認められましたが、国内生産活動の回復や個人消費の持ち直しは力強さに欠ける状況が続きました。先行きについては、新興国をはじめとする海外景気の下振れリスクや消費マインド回復の遅れなどが懸念され、依然として不透明な状況が続いています。このような経済情勢の下、当社グループの各事業セグメントの状況は以下のとおりでした。

#### **貴金属事業セグメント**

貴金属リサイクル事業における回収量については以下のとおりでした。エレクトロニクス分野では、国内市場の縮小は続いています。Eスクラップ事業および洗浄事業でシェアを拡大し、金の回収量は前年同期比で増加しました。デンタル分野では、貴金属使用量の減少の影響を受け、金およびパラジウムの回収量は前年同期比で減少しました。宝飾分野では、宝飾品買取業者との取引の拡大によって、金およびプラチナの回収量は前年同期比で増加しました。自動車触媒分野では、廃車台数が減少する中、新規顧客の開拓を積極的に展開し、パラジウムの回収量は前年同期並みで推移しました。

貴金属の平均販売単価については、金およびパラジウムは前年同期実績を上回り、銀およびプラチナは前年同期実績を下回りました。

また、北米の金・銀精錬事業では、貴金属相場の低迷、世界的な資源関連減速の影響を受け、精錬受託事業は処理量、単価ともに低減しました。このような中、技術交流の取組みを本格化させるなど、将来に向けたAsahi Refiningの事業基盤の強化に努めています。

#### **環境保全事業セグメント**

国内企業の生産活動の状況を反映して、民間企業からの廃棄物回収量は減少傾向が続き、このような中、新規取引先や新規案件開拓などの努力を積み重ね、官公庁関係の廃棄物回収量を確保するなど、全体としては堅調に推移しました。

#### **ライフ&ヘルス事業セグメント**

健康機器部門は、引き続き個人消費が力強さを欠いており、マッサージチェアをはじめ売上回復に至っていませんが、小型商材投入による商品ラインナップ拡充やコスト削減を行っています。

建設関連市場においては、工事受注は堅調に推移していますが、技能工不足、完工時期遅れなどで建設費上昇が継続しています。空調システム工事や業務用ヒーター部門はその影響を受け、利幅減少や施工見送りなど厳しい事業環境が続いています。このような中、新製品を含めたヒーター拡販活動や販売管理費をはじめコスト削減を行っています。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高61,646百万円(前年同四半期比10,013百万円増、19.4%増)、営業利益4,820百万円(前年同四半期比146百万円増、3.1%増)、経常利益4,698百万円(前年同四半期比15百万円減、0.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,752百万円(前年同四半期比157百万円減、5.4%減)となりました。セグメント別の売上高は、貴金属事業が43,124百万円(前年同四半期比5,974百万円増、16.1%増)、環境保全事業が7,277百万円(前年同四半期比59百万円減、0.8%減)、ライフ&ヘルス事業が11,244百万円(前年同四半期比4,099百万円増、57.4%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は105,659百万円となり、前連結会計年度末に比べ781百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が3,010百万円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は53,011百万円となり、前連結会計年度末に比べ908百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が453百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は52,648百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,690百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益2,752百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は49.4%(前連結会計年度末は48.2%)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益4,516百万円に減価償却費1,012百万円を加え、たな卸資産の減少額1,415百万円、売上債権の減少額1,247百万円、法人税等の支払額3,647百万円等を加減した結果4,514百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出650百万円等により、717百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額981百万円等により、871百万円の減少となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して3,020百万円増加し、13,861百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、平成27年5月11日の「平成27年度3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想通りであり、変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更を行っております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金に与える影響はありません。

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、当社及び国内連結子会社は有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法については、定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備は除く)については定額法)を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、中期経営計画における投資計画の検討を機に、有形固定資産の減価償却の方法について再度検討したことによるものであります。その結果、当社の製品需要実態から、今後長期安定的に稼働することが見込まれるため、有形固定資産の減価償却方法として定額法を採用することが費用配分の観点から合理的であり、経済実態をより適切に反映できると判断し、今回の変更を行うものであります。

これにより、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ97百万円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,046	14,057
受取手形及び売掛金	15,146	13,765
商品及び製品	4,855	3,740
仕掛品	9,141	8,949
原材料及び貯蔵品	1,633	1,533
その他	6,773	8,551
貸倒引当金	△40	△35
流動資産合計	48,556	50,562
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,298	11,851
土地	14,568	14,504
その他(純額)	5,467	5,374
有形固定資産合計	32,334	31,730
無形固定資産		
のれん	21,737	21,199
その他	906	934
無形固定資産合計	22,643	22,133
投資その他の資産	1,343	1,232
固定資産合計	56,321	55,096
資産合計	104,877	105,659

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,161	5,707
短期借入金	26,171	5,968
1年内返済予定の長期借入金	270	5,270
未払法人税等	2,111	1,907
賞与引当金	747	700
役員賞与引当金	36	-
修繕引当金	106	93
製品保証引当金	85	87
売上割戻引当金	371	643
返品調整引当金	13	14
その他	9,526	8,412
流動負債合計	45,603	28,806
固定負債		
長期借入金	6,550	21,719
退職給付に係る負債	126	137
その他	1,639	2,347
固定負債合計	8,316	24,204
負債合計	53,919	53,011
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,480	4,480
資本剰余金	6,038	6,112
利益剰余金	44,459	46,229
自己株式	△5,159	△5,032
株主資本合計	49,819	51,790
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	49
繰延ヘッジ損益	313	141
為替換算調整勘定	338	251
その他の包括利益累計額合計	685	442
新株予約権	77	-
非支配株主持分	375	414
純資産合計	50,958	52,648
負債純資産合計	104,877	105,659

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	51,632	61,646
売上原価	41,810	48,346
売上総利益	9,822	13,299
販売費及び一般管理費	5,148	8,479
営業利益	4,674	4,820
営業外収益		
受取利息	13	16
受取配当金	2	2
為替差益	23	-
その他	36	21
営業外収益合計	75	40
営業外費用		
支払利息	25	72
為替差損	-	20
シンジケートローン手数料	-	51
その他	10	19
営業外費用合計	36	163
経常利益	4,713	4,698
特別利益		
固定資産売却益	4	11
投資有価証券売却益	10	1
新株予約権戻入益	-	44
特別利益合計	14	57
特別損失		
固定資産除却損	8	8
固定資産売却損	5	0
減損損失	12	230
特別損失合計	27	239
税金等調整前四半期純利益	4,701	4,516
法人税、住民税及び事業税	1,641	1,774
法人税等調整額	118	△47
法人税等合計	1,759	1,726
四半期純利益	2,941	2,789
非支配株主に帰属する四半期純利益	31	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,909	2,752

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	2,941	2,789
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	16
繰延ヘッジ損益	295	△171
為替換算調整勘定	△29	△85
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	-
その他の包括利益合計	256	△240
四半期包括利益	3,197	2,549
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,168	2,509
非支配株主に係る四半期包括利益	29	39

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,701	4,516
減価償却費	842	1,012
減損損失	12	230
のれん償却額	281	825
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△6	11
受取利息及び受取配当金	△16	△18
支払利息	25	72
固定資産除売却損益(△は益)	10	△2
売上債権の増減額(△は増加)	△592	1,247
たな卸資産の増減額(△は増加)	320	1,415
仕入債務の増減額(△は減少)	547	△441
未払金の増減額(△は減少)	383	△1,729
その他	358	△545
小計	6,866	6,594
利息及び配当金の受取額	19	22
利息の支払額	△26	△77
法人税等の支払額	△4,039	△3,647
法人税等の還付額	1,439	1,623
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,260	4,514
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△0	-
定期預金の払戻による収入	82	9
差入保証金の回収による収入	93	50
有形固定資産の取得による支出	△886	△650
有形固定資産の売却による収入	36	45
無形固定資産の取得による支出	△39	△167
関係会社株式の取得による支出	△7,163	-
その他	235	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,642	△717
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,500	△20,204
長期借入れによる収入	-	20,304
長期借入金の返済による支出	△2,167	△135
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△21	△22
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	70	-
ストックオプションの行使による収入	-	167
配当金の支払額	△982	△981
財務活動によるキャッシュ・フロー	△601	△871
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	94
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,991	3,020
現金及び現金同等物の期首残高	9,470	10,841
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,478	13,861

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	貴金属 事業	環境保全 事業	ライフ&ヘルス 事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	37,150	7,336	7,145	51,632
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	37,150	7,336	7,145	51,632
セグメント利益	3,609	801	262	4,674

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	貴金属 事業	環境保全 事業	ライフ&ヘルス 事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	43,124	7,277	11,244	61,646
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	43,124	7,277	11,244	61,646
セグメント利益	3,859	847	112	4,820

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの変更等に関する事項

(報告セグメントの名称変更)

第1四半期連結会計期間より、前期まで「貴金属リサイクル事業」というセグメント名称で表記していた同事業について、より事業内容に即した「貴金属事業」という名称に変更しております。なお、当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメントの名称に基づき作成したものを開示しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社子会社の事業所再編に伴い、土地・建物等について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額及び解体費用を減損損失として特別損失に計上しております。

その結果、貴金属事業において50百万円、環境保全事業において95百万円、ライフ&ヘルス事業において84百万円、それぞれ減損損失を計上しております。